

下今泉一丁目
市民農園の
藤本さん一家
(上郷3丁目在住・
市民農園歴10ヵ月)



市民農園 のすすめ

岡農政課 ☎(235)4844

市民農園は、市内にある遊休農地を利用して、野菜作りを楽しんでもらうために市が貸し出しをしている農園です。野菜作りには、収穫して食べる喜びはもちろん、日々の作業は健康維持につながり、自分で植えた種や苗が成長する過程を知る楽しみもあります。現在、市内には23カ所の市民農園があり、約600人が思い思いの作物を育てています。ここでは、市民農園を実際に利用している方の声を中心に、4月からの利用申し込み方法(5ページ参照)をお知らせします。

◀小松菜は葉がやわらかくて茎はシャキシャキ。子どもも野菜が大好きです

農園には、週に1回程度、子どもたちと公園に行く感覚で通っています▶

▼採れたての野菜はお弁当にも入れています

土作りはお任せを。次は何を植えようかわくわくしています▼



上郷第2
市民農園の
福岡さん親子
(河原口5丁目在住・
市民農園歴8年)



藤本さんの声

初心者だけど大収穫！

子どもと一緒に野菜を種から育てる体験をしたいと思って申し込みました。

野菜作り初心者でしたが、隣の区画の方がベテランなので、野菜作りのコツや収穫のタイミングなど、本にも書いていないようなことを教えていただき、助けられています。

利用している農園の広さは25平方メートルで、今までに育てた野菜は、ジャガイモ・ナス・ミニトマト・スイカ・エダマメ・トウモロコシ・サツマイモ・ダイコン・ネギなどです。夏場は、暑い中の作業など大変なこともありましたが、ナスやミニトマトは家族4人で食べきれないぐらい収穫できてうれしかったです。エダマメは半分ぐらい虫に食べられてしまったので、次回は防虫ネットを張るなどの工夫をして挑戦したいです。

子どもたちが自分で育てた野菜をおいしいと喜んで食べている姿を見ることができ、市民農園を利用して良かったと実感しています。

福岡さんの声

愛情をかけた分だけ おいしく

市民農園を利用して8年たちますが、野菜作りは楽しいです。野菜は、愛情をかけた分だけおいしく育ちます。また、野菜作りに慣れてくると自分好みの野菜ができるようになってきます。

例えば、ミニトマトを育てるときは水の量を調整して、サラダ用と調理用に分けて作ったりしています。ほかにも、夏場にはそうめんの薬味にするネギなどを育てていました。

野菜作りのポイントは、いつ、どうやって食べるのかを考えながら行うことだと思います。店頭で値段が高くなる時期に収穫できる野菜は何かなど、家計のことも考えながら作ることもできます。

収穫した野菜は家族で食べるだけでなく、知り合いや他の農園利用者の方にお裾分けすることもあります。手をかけて育てた野菜を「おいしかった」と喜んでもらえることが、野菜作りの原動力にもなっています。